

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	福岡県宗像市
本事業の担当部局名	経営企画部経営企画課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分		一般メニュー							
関連事業メニュー		1_1_1 結婚支援センターに関する取組							
個別事業名		宗像市むなかた出会いサポートセンター運営事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成29年度	
総事業費(A)(円)		1,325,869		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0		差引額(A-B)(円)	1,325,869
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		1,325,869							
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費		
	総事業費	0	0	0	0	0	0		
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計		
	総事業費	1,325,869	0	0	0	0	1,325,869		
	対象経費支出予定額	1,325,869	0	0	0	0	1,325,869		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<div><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当年度の少子化対策では、「子育て世代」を主要ターゲットとして、安心して出産・子育てが出来る環境づくりや婚活支援、宗像ならではの地域資源を活かした特色ある教育支援を推進し、社会全体で子どもを育てる仕組みの充実に取り組んでいる。今後も若い世代への婚活支援、安心して出産・子育てが出来る支援を充実させることが必要である。</div> <div><本個別事業の位置付け> 「第3次宗像市総合計画」の中で、基本計画の1つに「若者・子育て世代の定住が促進されるまち」を掲げている。これまでの定住施策の効果もあり、現状少子化は進んでいないが、今後も継続的な定住・移住施策を実施し、若者・子育て世代の流入、定着を促進することに加え、自然減対策として婚活支援などを合わせて進めていくこととしている。本事業については、当該基本計画を達成するうえで必要な事業である。</div>							
個別事業の内容	番号	項目	内容						
	1	出会いサポートセンターの運営	むなかた出会いサポートセンターの運営により、結婚を支援するために次の事業を実施する。 ア 結婚を希望する会員登録者の拡大 結婚を希望する独身者をセンターの会員として登録し、その者に対し、下記イ・ウのサービスを提供する他、個別に出会いイベントの案内等を行う。 登録会員の募集は、ターゲット層がマッチする地域情報誌の掲載や企業・団体との連携を行い効率的に進めていく。 また、会員数の少ない20代や子どもを欲しいと望む30代の方向けの周知に注力し、利用のハードルが下がる広報やPR方法を検討していく。 独身の子どもを持つ親からの相談も随時受け、会員登録に繋げていく。 イ 会員に対する個別相談業務 AIマッチングサービスの常時サービス提供の他、センターに相談員を最大2人配置し、日曜日の10時半～17時まで運営する。 結婚を真剣に考えている人が抱える課題・ニーズを把握して、相談者の悩みや自身の希望にきめ細かに対応することで、相談者の結婚の実現を図る。 ウ マッチングシステム導入による出会いの場の提供、引き合わせ、成婚に向けたサポートの実施 オンラインでいつでも利用できるマッチングシステムを導入。 登録会員は、マッチングシステムを利用、もしくは相談員が登録会員の中から条件に合致する人物を紹介し、お見合いの場をセッティングすることで、独身者の結婚実現につなげていく。 エ 福岡県結婚新生活支援事業市町村連携事業における婚活イベントを企画するための情報提供、会員への積極的なイベント周知を行う。 オ 相談員とはセンター運営においての情報共有を定期的に行い、現状を把握した上で、引き合わせ成立者数やカップル成立組数、成婚数の向上と円滑な運営を図る。 【センターの各種情報(H29.7月～R6.11月30日時点)】 会員登録数:312人 引き合わせ成立者数:591人 カップル成立組数:245組 成婚数:34人						
	2								
	3								
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・地方においては、出会いの場が少ない課題があった。相談員やAIマッチングサービスを通じてのマッチングに加え、引き続き会員への積極的なイベント周知を行い、出会いの場を提供する。 ・むなかた出会いサポートセンターの登録会員の40～50代が会員数の半数を占めており、20代の会員数は数名のみである。積極的なイベント周知や婚活支援の広報を行い、若い世代から結婚に対する意識を高め、若い世代の登録者増加に繋げる。								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	安心して子育てができている割合		%	76 (R11年度時点)	73 (R6. 3. 31時点)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			――	
	婚姻件数		件	302 (R5年度)	
	婚姻率			3. 73 (R3年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	出会いサポートセンター会員登録数	人	338 (R7. 3. 31時点)	312 (R6. 11. 30時点)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	――	――
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	――	――
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	――	――
	④	引き合わせ成立者数	人	681 (R7. 3. 31時点)	591 (R6. 11. 30時点)
	⑤	カップル成立組数	組	293 (R7. 3. 31時点)	245 (R6. 11. 30時点)
	⑥	成婚数	人	37 (R7. 3. 31時点)	34 (R6. 11. 30時点)
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	福岡県宗像市
本事業の担当部局名	経営企画部経営企画課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分		重点メニュー							
関連事業メニュー		1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進							
個別事業名		宗像市婚活イベント運営事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和6年度	
総事業費(A)(円)		174,131		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0		差引額(A-B)(円)	174,131
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		174,131							
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費		
	総事業費	0	0	0	0	0	0		
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計		
	総事業費	174,131	0	0	0	0	174,131		
	対象経費支出予定額	174,131	0	0	0	0	174,131		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	――	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<div><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当年度の少子化対策では、「子育て世代」を主要ターゲットとして、安心して出産・子育てが出来る環境づくりや婚活支援、宗像ならではの地域資源を活かした特色ある教育支援を推進し、社会全体で子どもを育てる仕組みの充実に取り組んでいる。今後も若い世代への婚活支援、安心して出産・子育てが出来る支援を充実させることが必要である。</div> <div><本個別事業の位置付け> 「第3次宗像市総合計画」の中で、基本計画の1つに「若者・子育て世代の定住が促進されるまち」を掲げている。これまでの定住施策の効果もあり、現状少子化は進んでいないが、今後も継続的な定住・移住施策を実施し、若者・子育て世代の流入、定着を促進することに加え、自然減対策として婚活支援などを合わせて進めていくこととしている。本事業については、当該基本計画を達成するうえで必要な事業である。</div>							
個別事業の内容	番号	項目	内容						
	1	圏域内の複数市町村と連携した広域的な婚活イベントの共催	むなかた出会いサポートセンターにおいて、福岡県と連携し、婚活・結婚に向けた婚活イベントを開催する。会員登録有無関わらず参加出来る婚活に向けたモチベーションアップセミナーとイベントを開催することで、婚活に対して前向きなイメージを持っていただき、会員登録の促進も併せて実施する。また、セミナーの開催に併せて出会いイベントを実施することで、モチベーションアップセミナーの内容の実践を含めたイベントとし、相乗効果を見込む。 なお、イベント周知は、市HPやSNS等での広報に加え、福岡県出会い・結婚応援事務局HPや会員へのメール周知、他地域の出会いサポートセンターの会員を含め、広く周知する。 【イベント概要】 ・内容 婚活・結婚に向けたモチベーションアップセミナー、独身男女の出会いマッチングイベント ・対象 近隣市町村を含む県内在住の独身者 ・回数 各1回 ・定員 セミナー：20人、出会いイベント：20人 【県と宗像市の主な役割】 宗像市及びサポートセンター運営スタッフ：イベントの企画・提案(県との調整)、周知用チラシの作成、会場等手配、申込受付、イベント当日の受付・進行、募集チラシの周知(集客)、イベント実施後のアンケート実施・集計・分析 福岡県：連動する広域的な出会いイベントの企画・運営、本イベントを企画するための情報提供、結婚支援コンシェルジュ等による運営支援、募集チラシの周知(集客)、周知用チラシの作成(配布先：県・圏域市町村窓口、市内公共施設、市内事業者等)、イベント当日の受付・進行、)、イベント実施後のアンケート実施・集計・分析						
	2								
	3								
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・婚活イベントに参加することへのハードルやマイナスイメージを持つ独身者が少なからず存在するため、気軽に参加出来るイベントやセミナーを企画・運営し積極的な周知を実施することで、幅広い世代の方へ取組みの認知に繋げる。 ・R6年度に実施するイベント参加者のアンケート結果を踏まえ、より効果的で多くの方が参加しやすいセミナー内容やイベント企画を検討する。								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	安心して子育てができている割合		%	76 (R11年度時点)	73 (R6.3.31時点)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			――	
	婚姻件数		件	302 (R5年度)	
	婚姻率			3.73 (R3年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	婚活イベントの参加目標人数	人	20 (R7年度)	――
	②	スキルアップセミナーの参加者目標人数	人	20 (R7年度)	――
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	――	――
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	――	――
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	――	――
	④	婚活イベントに満足した参加者の割合	%	80 (R7年度)	――
	⑤	セミナーに満足した参加者の割合	%	80 (R7年度)	――
	⑥				
	⑦				
	⑧				

自治体名	福岡県宗像市
本事業の担当部局名	総務部秘書政策課

事業メニュー		結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分		重点メニュー							
関連事業メニュー		3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成							
個別事業名		宗像市子育て世代向けInstagram事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和4年度	
総事業費(A)(円)		3,364,680		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0		差引額(A-B)(円)	3,364,680
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		2,986,200							
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費		
	総事業費	0	0	0	0	0	0		
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計		
	総事業費	3,364,680	0	0	0	0	3,364,680		
	対象経費支出予定額	2,986,200	0	0	0	0	2,986,200		
	対象外経費支出予定額	378,480	0	0	0	0	378,480		
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通 当年度の少子化対策では、「子育て世代」を主要ターゲットとして、安心して出産・子育てができる環境づくりや婚活支援、宗像ならではの地域資源を活かした特色ある教育支援を推進し、社会全体で子どもを育てる仕組みの充実に取り組んでいる。今後も若い世代への婚活支援、安心して出産・子育てができる支援を充実させることが必要である。						
＜本個別事業の位置付け＞ 当年度の少子化対策では、「子育て世代」を主要ターゲットとして、安心して出産、子育てができる環境づくりや婚活支援、宗像ならではの地域資源を活かした特色ある教育支援を推進し、社会全体で子どもを育てる仕組みの充実に取り組んでいる。これらの効果的な推進のため、子育て世代が情報を取得するツールとして活用しているInstagramを用いて、効果的かつ効率的に子育て環境等に関する情報を発信するもの。									
個別事業の内容	番号	項目	内容						
	1	子育て世代向けInstagramの運用と、情報発信・啓発活動	主に子育て世代及び結婚前の若者向けの市公式Instagram「暮らし・子育て・おでかけ情報むむハグ」の運用により、出産・子育て支援制度、特色ある教育内容、市民団体等による子育て支援環境などを配信する。 ■情報配信・啓発活動 ・子育て情報 月に10件程度 ※こどもまんなか月間は連携記事を配信 ・こどもまんなか月間(5月・11月)と連携し、結婚・子育てを応援する機運醸成を図る情報発信・啓発活動等をInstagramを通じて行う。 ・市ホームページ内のAIチャットボットに代わり、検索機能の向上と機能を追加し、利便性の良い相談体制を構築。 ・市公式Instagramのプロフィールに市ホームページのURLを掲載し、ストレスなく手軽に利用できる環境を構築する。						
	2								
	3								
	＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)＞ ・Instagramを活用した情報発信では、行政からの発信にとどまるといった課題があった。これを踏まえ、フォロワーがコメント参加するなど、拡散性を加味した改善を実施する。 ・市ホームページ内のAIチャットボットにおいては、回答内容の不備で毎月見直しを行うという課題があった。R7.3月予定の市HPリニューアルに伴い、サイト内検索機能の向上と機能追加を実施し、市民の利便性を図る。								
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通		KPI項目			単位	目標値(時点)	現状値(時点)		
		安心して子育てができている割合			%	76 (R11年度時点)	73 (R6.3.31時点)		
参考指標 ※全事業共通		項目			単位	直近の実績値(時点)			
		合計特殊出生率				――			
		婚姻件数			件	302 (R5年度)			
		婚姻率				3.73 (R3年度)			
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標		KPI項目			単位	目標値(時点)	現状値(時点)		
		番号	項目						
		(アウトプット)							
		①	情報発信・啓発活動数		件	120 (R7年度)	120 (R6年度見込み)		
		②	フォロワー数		件	15,000 (R8.3.31)	12,395 (R7.1.31)		
		③							
		④							
		⑤							
		(アウトカム)							
		①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)		%	――	――		
		②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%	――	――		
		③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%	――	――		
		④							
		⑤							
		⑥							
⑦									
⑧									

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名	福岡県宗像市
本事業の担当部局名	市民協働部男女共同参画推進課

事業メニュー		結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		3_2_3 育児休業取得と家事・育児分担の促進						
個別事業名		仕事・育児介護両立支援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間		交付決定日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		433,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	433,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		433,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	433,000	0	0	0	0	433,000	
	対象経費支出予定額	433,000	0	0	0	0	433,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。							
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<div>＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通</div> <p>当年度の少子化対策では、「子育て世代」を主要ターゲットとして、安心して出産・子育てが出来る環境づくりや婚活支援、宗像ならではの地域資源を活かした特色ある教育支援を推進し、社会全体で子どもを育てる仕組みの充実に取り組んでいる。今後も若い世代への婚活支援、安心して出産・子育てが出来る支援を充実させることが必要である。</p> <div>＜本個別事業の位置付け＞</div> <p>当年度の仕事・育児介護両立支援事業では、子育て世代を主要ターゲットとして、妊娠・産後・育児期の家庭と仕事の両立について考え、夫婦の協力体制づくりにつなげるための支援を実施予定。 具体的な事業として、家庭内での家事育児の役割分担や仕事との両立について、夫婦の対話を促すためのセミナーを開催するもの。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	夫婦の対話を促すセミナーの開催	<p>夫婦で自分たちの考えや希望を可視化し、家事育児の役割分担や仕事との両立について夫婦で対話するきっかけづくりのセミナーを委託により開催する。</p> <p>わが子の健康や命、成長に影響する大切なことを1人で考えて決めなくてはならない『思考のワンオペ』状況が続くと、男女共にメンタルヘルスの悪化につながる。特に産後の女性は、自分の体調への不安もある中、小さな命への責任感・緊張感を抱えやすいナーバスになりがちである。対話により「わたしたち」という共同経営者感覚を育むことで、新たな夫婦の協力体制構築につながり、結婚生活や子育てに前向きになれる。</p> <p>また、家庭は社会の最小単位であり、子どもたちが最初に触れる社会そのものであるため、子どもにとっての「より良い家庭環境」を創り出していくことにもつながっていくと期待できる。</p> <p>併せて、家庭と仕事の両立に前向きなイメージをもてるよう、本セミナー内で本市が実施している「女性のための将来設計セミナー」や就労サポートセンター「むなぼーと」等の紹介も行い、多様な働き方に向けた選択肢や相談窓口を紹介する。</p> <p>○夫婦対話セミナー(1回)</p> <ul style="list-style-type: none">・参加予定者数(定員):60人(夫婦参加、1人参加どちらも可)・対象:現在子育て中、将来の子育てを見据えている人・内容:講演+ワーク <p>講演は、「夫婦で『対話する』とはどういうことか」をテーマに、講師の実体験に基づく産前産後のリアルな情報も提供する。</p> <p>ワークは、ワークシートを使って、実際に「対話」を始めるための準備をする。自己対話が深まる3種類のワークを用意。</p> <ul style="list-style-type: none">・参加無料					
2								

3					
＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)＞					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	安心して子育てができている割合		%	76 (R11年度時点)	73 (R6. 3. 31時点)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			――	
	婚姻件数		件	302 (R5年度)	
	婚姻率			3. 73 (R3年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	セミナーの参加目標人数	人	54 (R7年度)	
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	90	
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	90	
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				